

### 「運動靴と赤い金魚」「太陽は、ぼくの瞳」

# イランの巨匠マジッド・マジディ監督 待望の新作

《第25回モントリオール映画祭グランプリ受賞》

"マジディ監督の素敵なおまじないが、 より複雑な魔法をかけてくれる…" ニューヨーク・タイムズ "こんなにも切なく美しい幕切れは、近年記憶にない。 まるでチャップリンのサイレント映画の傑作「街の灯」のよう" ニューズデイ・コム "豊かな気持ちになると同時に、 アフガンの人々の苦しみが心を打つ" ロサンゼルス・タイムズ "極めて感動的なドラマ。 見事な映像詩!" ヴァラエティ

#### 愛を描いたマジディ監督の新境地!!

「運動靴と赤い金魚」「太陽は、ぼくの瞳」などの作品で既に高い評価を得ているイランの巨匠マジッド・マジディ監督の待望の新作は、前二作に続いて3度目のモントリオール映画祭グランプリ受賞という快挙を達成した、"無償の愛の物語"である。

主人公は建築現場で働く17歳のイラン人の若者。彼は新たに雇われたアフガンから来た少年の重大な秘密――実は長い髪の美しい少女だった!そのことを知った瞬間から彼女の秘密を守るために、どんな犠牲をもいとわない守護天使となることを誓う。それは、ひたすら見守りそばにいたいだけの愛である。その想いの純粋さ、強さ、そして目の覚めるような自己犠牲による愛情表現は観る者に忘れかけていた清冽な感動を与えずにはおかない。まさに、心の目で見る作品である。

ヒロインの名前 "バラン" とはペルシャ語で "雨" のこと。春の訪れのしるしである恵みの雨が、少年と少女の上に静かに降り注ぐラストシーンは、まるで永遠の別れの哀しみを未来へのあたたかな希望で洗い流してくれるような、胸にしみ入る忘れられない名場面となっている。

#### "9.11"事件とアフガン人の思い

"9.11"後の12月にアメリカで公開された本作は、ナショナル・ボード・オヴ・レヴュー賞・表現の自由賞を受賞するなど、数多くの批評家から最大級の賛辞を浴びている。本作は、イランに300万人いると言われているアフガン難民が直面している過酷な現実を描いてみせた点でもきわめて意義深い。

"9.11"事件以降も様々なアフガン人を扱ったイラン映画が公開され話題となった。 本作も同じく、事件以前に製作されたものではあるが、本作で描かれた献身的な愛と自 己犠牲の物語は、くしくも"9.11"以後の世界に生きる人々が無関心ではいられない。

ひとことも口をきかない少女パランは、自らを語る機会と手段を持たないアフガン の人々の象徴なのだ、とマジディ監督は語っている。





#### 自分自身を演じるヒロインを探し求めて

台詞に頼らない、美しく力強く詩情あふれる映像表現はマジディ監督ならではのもの。本作でも最も魅力的な磁力を発しているのは、ほとんどが演技経験のない俳優たちの生き生きとした表情である。マジディ監督がバラン役のザーラ・バーラミを発見したのは、テヘランの東720km、ロシアとアフガニスタンの国境付近にある標高980mの街メシェッド(マシュハド)の難民キャンプでだった。彼女は、生まれも育ちもこのキャンプで、15年間、一度も足を踏み出したことがなかったというが、そのような境遇であったからこそ、バラン役を真実味豊かに演じる事が出来たと言えるだろう。



下少女の髪どめ」は過去30年に渡ってイランで生活してきたアフガン難民の一端を示しています。私たちは民の一端を示しています。私たちは民の一端を示しています。私たちは民の一端を示しています。私たちは民の一端を示しています。私たちはそのすなことがあれば、私たちはそのすなことがあれば、私たちはそのずなことがあれば、私たちはそのがあります。世界が戦争ではなく、変にはあらゆる境界線を超える力があります。世界が戦争ではなく、変にはあらゆる境界線を超える力がありませんか。

## 6月下旬ロードショー♥無償の愛の物語

特別前売ご鑑賞券 ¥1500絶賛発売中! (当日一般¥1800の処) 劇場窓口にて お求めの方に、 ボストカードを ブレゼント! 〈先着限定〉

- ●火曜日:男性の方1000円均一
- ●水曜日:女性の方1000円均一
- ●12月を除く第一水曜日(12月は1日)は テアトル梅田の映画サービスデー:1000円均一

梅田ロフトB1 テアトル梅田 06(6359)1080

http://www.cinemabox.com/